

令和7年度 第1回 三郷市図書館及び視聴覚ライブラリー協議会会議録							
開催期日		令和7年6月19日（木）10時00分					
閉会の日時		令和7年6月19日（木）11時40分					
開催場所		三郷市役所7階 農業委員会議室					
出席状況		委員 10名中 10名 事務局 10名 傍聴 0名					
主な議題	(報告事項)令和6年度事業報告について						
	(報告事項)令和7年度事業計画(案) について						
	(報告事項)「第2次日本一の読書のまち三郷推進計画」進捗状況について						
	(報告事項)「第3次日本一の読書のまち三郷推進計画」の策定について						
席次番号	委員氏名	摘 要	席次番号	委員氏名	摘 要		
1	土 倉 知 子	Ⓐ・欠	11		出・欠		
2	中 川 進	Ⓐ・欠	12		出・欠		
3	武 藤 彩 花	Ⓐ・欠	13		出・欠		
4	今 友 美	Ⓐ・欠	14		出・欠		
5	古 賀 智 子	Ⓐ・欠	15		出・欠		
6	田 口 啓 子	Ⓐ・欠	16		出・欠		
7	山 上 礼 子	Ⓐ・欠	17		出・欠		
8	横 井 直 美	Ⓐ・欠	18		出・欠		
9	福 田 誠 治	Ⓐ・欠	19		出・欠		
10	土 屋 かおり	Ⓐ・欠	20		出・欠		
事務局出席者名							
教育長	大塚 正樹	生涯学習部 部長	横田 隆宏	日本一の読書の まち推進課長	茂木 光司	日本一の読書のま ち推進課企画推 進係長	染谷 将隆
市立図書館長	染谷 篤仁	早稲田図書館長	三國 博子	北部図書館長	園田 久美子	生涯学習課生涯 学習係長	佐藤 有起
北部図書館 主査	千葉 利衣						
会議の概要または特記事項							

審議の概要

会議名		令和7年度第1回三郷市図書館及び視聴覚ライブラリー協議会
		1. 開会 司会・進行 園田北部図書館長 2. 委嘱書の交付 3. 会長あいさつ 4. 教育長あいさつ 大塚教育長 5. 委員紹介 6. 職員紹介
	福田会長	7. 議事（議事進行：福田会長）
	事務局	《議題1》令和6年度事業報告について ● 図書館の利用状況、各館事業の説明、3館合同事業について （令和6年度図書館事業報告・利用統計 資料1-1、資料1-2参照） ● 企画推進系の読書推進の取り組みについて （令和6年度企画推進系事業報告 資料1-1参照） ● 視聴覚ライブラリーの利用状況について （視聴覚ライブラリーについて 資料4参照）
	福田会長	事業を既にたくさんされているので、次はどう繋いでいくかを考えていくのも良いのではないかと。例えば幼稚園と保育所が繋がる事例はあるだろうか。
	中川副会長	現在、小学校を軸にした取組事例はあるが、直接のものは無い。
	福田会長	都内に事例があるのだが、保護者の強い意見の影響や、管轄の行政も分かれてしまうことから分離に傾いている。世界的には幼保一元化の流れがある。本を読んだことにより興味を持ち実施をするというのは発達としていい方向ではないか。これは高齢者にも言えることで、一緒にできるのが、発達心理としても良い影響があると分かっているが難しそう。
	田口委員	こども園はどうなのか。市内にいくつあったか。
	中川副会長	市内には現在5園ある。
	福田会長	高齢者とこども園を繋いだり、子ども司書を派遣したりという取組も良いのではないかと。
	事務局	現在ふれあいブックワゴン1号車が、幼稚園、保育所、小学校等を回っている。園でふれあいブックワゴンを見た子が小学校でも同じ車に出会うことで本を通じた繋がりができるのではないかと。ふれあいブックワゴン2号車は高齢者施設を回っている。これらが各施設を繋いでいくような取組になれば良いと思う。
	福田会長	高齢者本人に生きがいも生まれる。今の自分を見ながらその場を楽しむことで、自分のやっていることに自信を持つようになり希望が生まれる。こどもにとっても自分のやる事にここまでできたという自信が持てる、安心感が持てる。各世代を繋ぐそんな場を提供する取組が増えると良い。

中川副会長	各世代の取り組みが素晴らしい。次のステップに繋ぐという点では、将来的に子ども司書が経験を積んで育っていくことで、様々な世代を結びつける軸の存在となれる。育った先で活動していき、枝分かれしながらも各種の取り組みに活かしていければ豊かな活動になるのではないかな。
横井委員	ふれあい文庫を瑞沼市民センターにも設置してほしい。また、図書館で一般と児童を分離しすぎず、交流が生まれるコーナーがあるのも良いのではないかな。 《議題2》令和7年度事業計画（案）について ● 図書館関係 ● 企画推進係関係 （令和7年度運営基本方針及び重点目標、事業計画、事業予定資料2、資料3参照） ● 視聴覚ライブラリー（資料4後半参照）
土倉委員	図書館の英語絵本おはなし会は素晴らしいと思っている。ただ、らんどせるブックよもよも事業では日本語を母語としない子が英語でも文字を読めない子がいるので、そういった子にも配慮した選書を考えていただきたい。また、におどり公園でのみさと絵本サーキットは好評だったと聞いている。みさと公園で、以前別のイベントはあったがみさと絵本サーキットもみさと公園でできないかご検討いただきたい。
福田会長	英語は世界的に仲介語にしようとしているが、進みすぎると母語が無くなる。英語は音から入るが、日本語は視覚的で、意味を知りながら学ぶもので、習得には時間がかかるものだろう。難しいが、読みながら書きながら学ぶ、読書でどちらも学んでほしいしこれで交流ができるかもしれない。
中川副会長	こどもの読書環境を豊かにするクラウドファンディングは賛同できる取組だと思う。市民が目的を持ち主体的に関わることができるものである。こどもの本を充実させることで、市民がこどもを育てていくことに主体的に関わることができる。
福田会長	これだけ事業をされていれば、出版社と上手く関われば日常的にサポートをしていただけるのではないかな。言語についての問題は難しいが、日本語を母語としない保護者の方などに、学童などで補助に入ってもらえることはできないかな。学校だけではなかなか解決できない問題である。 《議題3》第2次日本一の読書のまち三郷推進計画進捗状況について（資料5参照） 《議題4》第3次日本一の読書のまち三郷推進計画策定について（資料6参照）
横井委員	第3次計画では第2次計画を拡大するものであると思うが、新規に何かを始めるということはないのかな。

	事務局	今回の新しいところとしては、基本方針１－４のデジタル化ということで電子書籍等の推進を行い、基本方針３－６の学校司書の配置を充実させる計画がある。今年度から直雇用をし、勤務日数を拡大した学校が２校ある。今後に向け充実した活動が期待されている。
	横井委員	学校司書の勤務日数が増えたのは良い。他校にも広がってほしい。
	土屋委員	基本方針３－６にも関わるが、全体的に図書館職員が外に出てアウトプットする機会が多く感じる。とても良いことだが、そこにフィードバックさせるために、図書館職員の育成のためにも、インプットの機会があると良い。研修など、人材も次へ繋げ育てることが盛り込まれると良いのではないかな。
		《議題５》その他 クラウドファンディングについて（当日配付資料参照）
	福田会長	特典はないという認識で良いのか。
	事務局	返礼品は用意していないが、購入した図書は子ども達のために存分に活用し、特集展示を行う予定である。また、許可をいただけた方のお名前の掲示を考えている。これらは随時情報を発信していく。
	福田会長	物を貰いたいというわけではない。もっとお知らせが貰えとか、情報を頂けるとするのが良いのではないかな。子育てなど、自分たちが困っていることを解決できる率直なレポートが必要。できないこと・困りごとをサポートする市の仕組みや相談部署があるという情報を定期的に発信するという返礼で、知的に動けるような人が支援してくれるのではないかな。そういう支援者をつかめる仕組みが必要だと感じる。
	中川副会長	閉会（閉会の辞：中川副会長）